



4,000人目の入場者となった奥山さんに記念品が贈られる

新たな創意工夫で 過去最高の入場者

今回のビエンナーレ2005では、運営の手足となる企

業しみにしている。伊達信用金庫で紹介展を開催する時にも見に行っている。どの作品もすばらしいと思う。以前にアンケートに答えて産品を贈っていたこともあった。午前中に来ようと思ったが午後に来てよかった」と笑顔で話していました。

画五十人委員に、実施委員会委員、並びに実施委員会の構成団体が推薦する委員が加わり、その企画五十人委員会においても、普及部会を設けて頻繁にビエンナーレ通信を発行するなど、多くの皆さんが参加し、ビエンナーレを盛り上げようとする取り組みが行われました。

また、審査会の村民公開や大賞作家のキフ・パネットさんを囲む座談会、審査委員長の笹野尚明氏を招いて彫刻の世界を学ぶ催しなどを初めて行い、村民の皆さんの関心・興味を高めたと思います。

このような創意工夫や後援いただきました関係機関、関係者のご努力により、過去最高の入場者を達成したことは、今後のビエンナーレ開催に対する期待がさらに高まったと思います。応援いただいた皆さんありがとうございます。

活動の成果を発表

洞爺中学校学校祭



素晴らしい演奏を披露する吹奏楽部発表

十月二日、洞爺中学校では「初志貫徹」をテーマに洞爺村としては最後の学校祭が行われました。

生徒たちは書道、絵画等の作品や壁新聞、部活動紹介などの展示発表のほか、ステージ発表、食堂バザー、チャリティーバザー、縁日屋台など、生徒会を中心として夏休み前から準備してきた洞爺中学校の活動や文化を、保護者や地域住民の皆さんに発表しました。

ステージでは、楽しい演劇、すばらしい吹奏楽部発表や合唱コンクール、「おにぎり朝食い」などの生徒会イベント、コントなどが行われ、生徒たちの努力を重ねた成果に、見ていた保護者や生徒、地域住民の皆さんから、温かい拍手や歓声、笑い声がわき起こっていました。



確かな演技で笑いを誘った演劇発表